

2021/9/16

商品企画部
中島 三養子

マーケット・フォーカス

商品：原油、アルミ、バッテリーメタル

脱炭素化から明暗も、バッテリーメタルは需要拡大

- 原油：米国はインフレ対策と環境政策の両輪から OPEC プラスに圧力、当面もみ合いか
- バッテリーメタル：IEA は 2020 年から 40 年に鉱物需要は 30 倍になると予想

2020年以降、商品価格は脱炭素化の影響から明暗が分かれてきた。バルチック海運指数は上昇一服、鉄鉱石は中国当局の規制から反落、非鉄・貴金属は堅調に。

～原油価格～

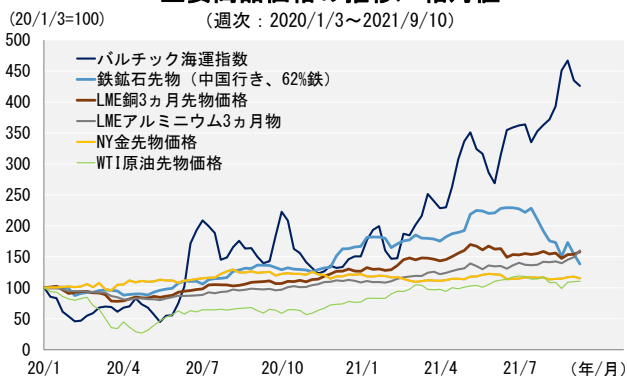
米国からの圧力で上
値抑制の一方で、下
落リスクは限定的か

9/15時点のWTI原油先物価格は1バレル=72.61ドル。米国ではハリケーンの影響からメキシコ湾岸の製油所が一時生産を停止、供給不安が原油価格を押し上げた。一方、9月の石油輸出国機構(OPEC)月報では、10-12月期の需要見通しが下方修正されたことが相場の重荷となった。また、9/5にはサウジアラビアが10月積みのアジア向けアラブ・ライト原油のプレミアムを大幅に引き下げ、原油需要の緩みが意識された。ただ、2022年の需要見通しは1億80万バレルに上方修正された。

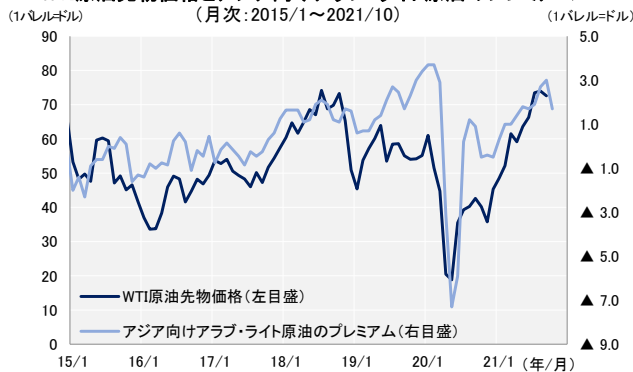
8月中旬に米ホワイトハウスはOPECに対し、追加の増産を要請。米国は環境政策による自国の石油生産制限と、ガソリン小売価格の高騰による経済への影響の板挟みとなっている。今後は、バイデン米政権が2022年の中間選挙に向けて石油価格安定のためOPECに対し圧力を高める可能性も。

OPECと非加盟産油国を含むOPECプラスは9/1の会合で日量40万バレルの減産縮小を改めて合意。現行ペースでは減産縮小の終了は2022年の見通し。10/4に開催予定のOPECプラス閣僚級会合では再び減産縮小の水準が検討されよう。米国からの圧力を考えると、当面はOPECが減産縮小を続けながらも、需給が緩まぬようバランスをとる可能性が高いとみられ、原油価格は60～75ドル前後のもみ合いか。

主要商品価格の推移／相対値



WTI原油先物価格とアジア向けアラブ・ライト原油のプレミアム



(注1) WTI原油先物価格は21/9/15時点

(注2) アジア向けアラブ・ライト原油のプレミアムは、ドバイとオマーンの公式販売価格の平均に対する上乗せ分

出所：ブルームバーグのデータよりみずほ証券作成

この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。また、本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。最終ページに金融商品取引法に係る重要事項を掲載していますのでご覧ください。

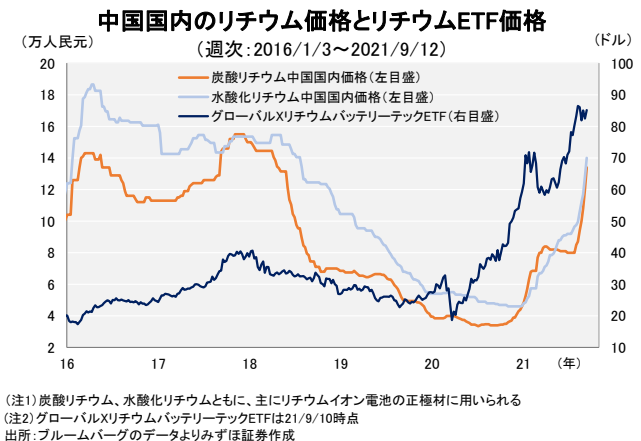
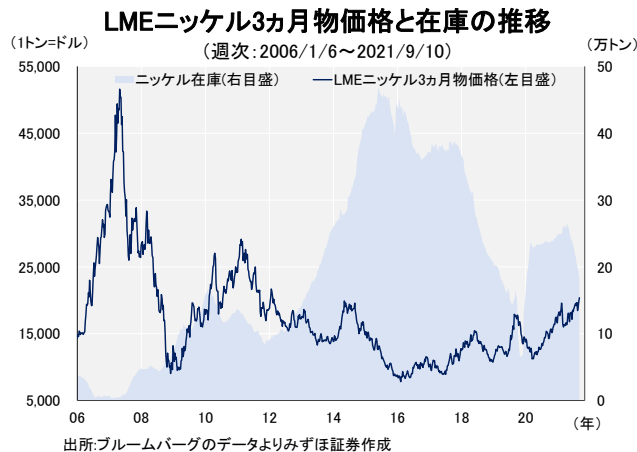
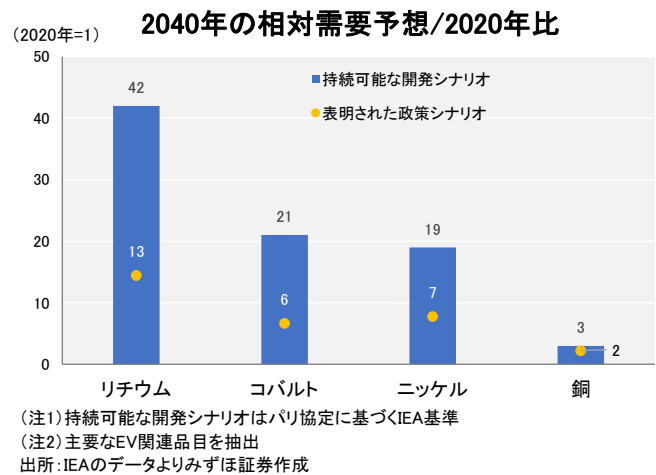
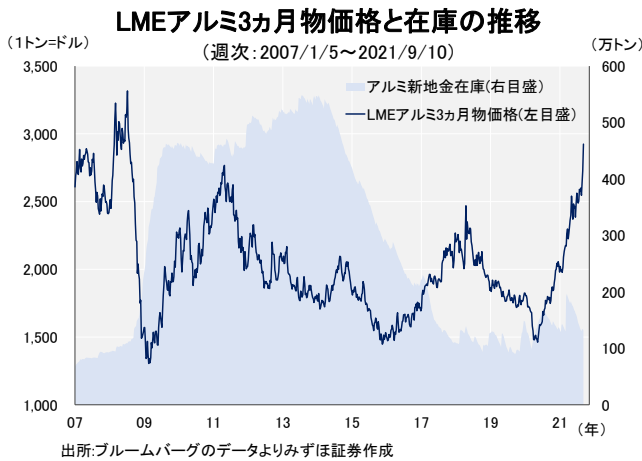
～アルミ～

中国の制限やギニア
政情不安から高値に

LMEアルミ3ヵ月物価格は13年ぶり高値圏。アルミは飲料缶から自動車まで幅広い製品に使用されており、世界景気回復と中国の供給制限を背景に急ピッチな上昇が続いている。足元ではギニアの政情不安から原料となるボーキサイトの供給懸念が加わった。今後も品薄感と物流面での制限から下値は切り上がりそうだ。一方、ギニアや中国の影響が一巡すれば2008年高値3,300ドル前後で上値一服か。

～バッテリーメタル～
需要は2040年にかけて
30倍超となる見通し

バッテリーメタルとは主にリチウム、コバルト、ニッケル等、電気自動車(EV)等のバッテリーに使用される金属等のこと。EV市場の拡大からバッテリーメタルの高騰が続いている。電動車の電池やステンレス鋼に使われるニッケルは7年ぶり高値に。バイデン米大統領は、2030年までに新車の50%を電動車とする目標を掲げた。国際エネルギー機関(IEA)は、2020年から2040年にかけてEVやバッテリーで使用する鉱物需要が少なくとも30倍に拡大すると予想。なかでもリチウムの拡大余地が最も大きいとの見方を示している。現在、ニッケル、マンガン、コバルトで構成する三元系(NMC)と呼ぶタイプがリチウムイオン電池の正極材の主流といわれる。足元では供給が不安定なコバルト等を使わず比較的安全性が高いとされるリン酸鉄リチウムイオン電池を使用し、大衆車向けに搭載する技術も注目されているようだ。リチウムはEV技術に不可欠となっているため、関連企業における鉱山会社等の資産買収が相次いでいる。バッテリーメタルは当面、需給ひっ迫から価格上昇が続きそうだ。



この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。また、本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。最終ページに金融商品取引法に係る重要事項を掲載していますのでご覧ください。

金融商品取引法に係る重要事項

- 当社取り扱いの商品等(外貨建商品等も含む)にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料(投資信託の場合は銘柄ごとに設定された購入時手数料および信託報酬等の諸費用等)をご負担いただきます。債券を当社との相対取引によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 各商品等には価格の変動や発行者の信用状況の悪化等により損失が生じるおそれがあります。
- なお、債券の利金・償還金の支払いについて、発行者の信用状況等によっては、支払いの遅滞・不履行が生じるおそれがあります。
- 外貨建商品等の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。また、売却時等の為替相場の状況によっては為替差損が生じ、損失を被るおそれがあります。
- 商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

商号等：みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

広告審査番号：MG5690-210916-09